とうきょう　すくわくプログラム活動報告書

園名	草花保育園
活動日時	10月2日（木）
クラス名（年齢）	もも組（4歳児）
年間テーマ	自然

1、活動テーマ

＜テーマ＞

「見て　触れて　感じて　考える」

＜テーマの設定理由（子どもの姿）＞

・園庭に行くと「ヒガンバナ咲いてるね」など秋にしか見ることができない自然に気が付き、保育者や友達に共有しようとする姿を見て、自然の変化に興味を持てたら良いと感じた為。

2、活動スケジュール

・草花、虫、雲など原っぱで見つけることが出来るものを知る
・原っぱに草花や虫などを探しに行く
・友達や保育者に見つけた物を共有する

3、環境をデザインする（活動のために準備した素材や道具、環境設定）

・原っぱで見ることが出来る虫や草花などの写真を用意する
・捕まえた虫を入れる虫メガネ付きの入れ物を一人一個用意する

4、探究活動の実践

＜活動内容＞

・原っぱで見ることが出来る草花や虫、雲などの写真を見て興味を深める
・原っぱに行き、事前に見た草花や虫など見つけ、捕まえる
・空を見上げ雲の形に興味を持つ

＜活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり＞

子どもの言葉・姿	写真
・外に出てすぐに「先生見て！赤い実がある」と部屋の前にあるハナミズキの木に赤い実がなっていることに気が付き保育者に共有しようとする姿があった。 ・園庭にあるザクロを見ている時に「あそこにうろこ雲があるよ！」とその先に見える雲に気が付き、周りに共有していた。また、その声を聞いて違う方向にはすじ雲があることに気が付いた子どもが共有する姿もあった。 ・導入の時に写真で見たツルボを原っぱで実際に見つけた子どもが「先生、先っぽの丸いつぶつぶがなんだか小さいブルーベリーみたいだよ」と触りながら観察をして、気付きを共有していた。 ・バッタを捕まえた子どもがなかなか虫を捕まえられなかった友達に「飛ぶ前にカップに被せると捕まえられるよ」と自己流のやり方を教えていた。	

5、振り返り（振り返りによって得た保育者の気づき）

・季節の移り変わりなど難しいとも感じたが、子ども達は「秋」を連想する物の中にヒガンバナ、スズムシ、コオロギなど様々な物が思い浮かぶことを改めて感じた。また子ども達は虫、植物、空など少し意識するだけで様々な視点で気が付き、発想などが面白いとも感じ今後も様々なことに気が付ける環境を作っていきたいと感じた。また、秋冬の自然を振り返ることができる壁面なども作っていきたいと思う。